

この 3 か月の活動

月	日	行事・活動	摘要
5	18	県道法面の草刈り	農地水中の村支部との共催で 19 名が参加
	20	連合自治会理事会	
	26	第 2 回景観分科会	2 回で終了し結果を提言に。内容はブログに掲載
	27	防災説明会（駅組常会）	19～20 時、常会員 13 名参加
	31	出前口座（防災・減災のススメ）	危機管理課の林係長さん。内容はブログに掲載
6	1	駅周辺・桜土手の環境整備	今年初めての環境整備活動
	8	防災説明会（中所常会）	10 時半～11:15、常会員 7 名参加
	12	防災会議（連合自治会）	ブログに掲載
	15	防災説明会（大坪常会）	8 時半～9:20、常会員 13 名参加
	17	連合自治会理事会	会議資料と内容はブログに掲載
	26	河川カメラへの照明テスト	記事を掲載
	27	防災説明会（市場常会）	19 時半～20:15、常会員 15 名参加
7	4	合同敬老会実行委員会（第 1 回）	ブログに掲載
	8	木舟第 2 踏切の現地確認	JR 側より踏切廃止などの提案、今後の検討課題
	9	学校再編に関する地元説明会	藤岡市議提供の関係資料をブログに掲載

注：中の村自治会ブログは検索しても出てきません。下記 URL とパスワードを入力し閲覧してください。
<https://nakanomura.org> Password : 7669

防災説明会が終わりました

自治会防災分科会が 5 常会を回って、中の村地区での大雨水害を想定し常会員の対応の仕方を説明する防災説明会が終了しました。説明者は分科会座長の玉岡秀利さんと分科会専門委員で民生委員の深水美樹さん。

玉岡さんは、資料に沿って①防災アンケートの結果、②避難行動のうち自分でできることと近所・常会で出来ること、③タイムライン（避難行動計画）の考え方を説明しました。江の川の水位観測点が吉田にしかないこと、洪水が吉田から中所辺りに達するまで約 1 時間かかること、避難行動は、健常者と要支援者（自分で避難できない人）では別に考える必要があることなど、地元目線で大変参考になる説明でした。

深水さんからは、災害時の避難行動を行政や関係者が直接支援することはできないこと、要支援者は地元福祉避難所（ぬくもり）があるので事前によく相談いただきたいなどの説明がありました。

説明の後、参加者との質疑応答がありました。これらの内容は書面にして防災分科会メンバーで共有しています。常会長さんはじめ、出席の皆さんの協力に感謝いたします。

自治活動支援交付金による活動計画

6 月 17 日の連合自治会理事会で、中の村自治会が出していた約 89 万円の活動計画が承認されました（他の自治会が希望しなかった）。内容はブログに掲載していますが、①広報分科会、②防災分科会、③景観分科会と 3 つに分かれており、主な内容を以下に説明します。

(1) 広報分科会 42 千円

R7 年度のブログの運営費を計上しています。来年度は役員改選なので、今年の内容に対する皆さんの評価によって継続されるかどうか判断されると思っています。

(2) 防災分科会 303 千円

今秋から「防災の手引き」作りを始めるので、分科会の運営費（53 千円）と手引き作成費（200 千円）が主なものです。読みやすい内容にするため、市内の印刷会社の協力も織り込んでいます。LED 投光器購入費（50 千円）は、落合橋たもとの県河川 Web カメラへの洪水時照明用（後述）です。

(3) 景観分科会 545 千円

景観分科会の提言を受けて今年度初めに作った活動内容です。

ア. 志和地駅周辺の整備

自転車置き場の反対に積みあがった剪定クズを撤去し、代わりの場所に専用置場を設け、駐車場スペースを整備します。また、駅周辺の環境整備範囲の明確化も考えています。

イ. 桜土手の植栽などの補修

破損したボンボリや器具の調達とイルミネーションを飾る場所を整備します。自治会役員がこの飾り付けに大変苦勞するので、何とかして簡単な方法を見つけたいと思います。さらに、欠けている桜や彼岸花を補植することも計画しています。

ウ. かわち葉ボタン市への参加

去年は子ども神楽とイルミネーション点灯式を催したのですが、今年は子ども神楽に代えて「六神儀」を奉納していただけないか、志賀神社芸能伝統保存会に要請書を出そうとしている段階です。実現できるかどうかは先方のご意向もあり何とも言えません。併せて葉ボタン市開催日（日曜）の A コープの開店も要請する予定です。なお、焼き芋の製造販売は、今年は看板を作ってやります。

エ. 撮り鉄を対象にした環境整備

Google Map の志和地駅をクリックすると、たくさんの投稿写真が載っています。志和地駅はかなり特徴ある駅の様で、桜並木も重要な構成要素です。これを何とかしたいと駅周辺整備計画の中で計画しています。

県河川 Web カメラへの照明テスト

6 月 30 日の中国新聞トップに河川 Web カメラの整備が進んでいることの紹介がありました。中の村地区では落合橋の夢工房そばの土手に設置されています。ネットで「広島県防災 Web→ データを見る→河川・海岸カメラ」とクリックしていくと、「落合橋前」の画像が現れます。昼間はよく見えますが夜間は真っ暗で、洪水時の川面は恐らく見えません。



それで防災分科会の予算の関係から、6 月 26 日 20 時頃に対岸から自治会防災備品（ハロゲン電球、500w×2）を使って照明してみました。その結果がこの写真です。

編集後記 6 月 7 日 18 時頃、木舟第 2 踏切で軽トラと列車の衝突寸前事件（直前横断）がありました。幸いに事故は起きませんでしたが、JR からは踏切の廃止か縮小してゲート設置などの提案がありました。踏切そばの桜の大木も（北部建設事務所の許可を得たとかで）JR が線路側の枝を少し切除しました。踏切をどうするかは、8 月末までに木舟常会と自治会で検討することになっています。